取扱説明書

一般社団法人日本建設機械施工協会加盟

当社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

チェーン装着前に必ずお読みください。

タイヤチェーンは消耗品です。正しい装着により安全走行の確保ができ、チェーンの耐久性にも大きく影響します。この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の正しい取扱い方を示しています。いつでも確認できるように大切に保管してください。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく装着し、走行速度を守ってご使用ください。

※製品の間違った取扱いや取り付け方等に起因する傷害や損害については責任を負いかねます。

装着する前には

※チェーンはタイヤサイズにあったものをご使用ください。

①同タイヤサイズであってもタイヤメーカー、形状、銘柄(冬用タイヤなど)、空気圧、摩耗度合いなどによって、大きさが異なっている場合があります。**購入後に必ず装着を試みてください。〔警告①〕**装着は、手順に従って取り付けてください。
②チェーンを装着する場所や周囲の安全を確認してください。他の走行車や路面の傾斜度などに注意してください。
③チェーンを扱いやすくし、手を保護するために、必ず軍手や手袋などを使用してください。**〔注意①〕**
④チェーン装着以外のタイヤには、必ず車輪止めをしてください。

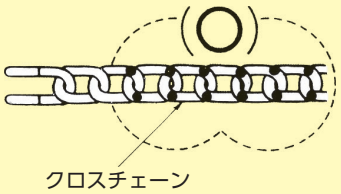
こんなとき、チェーンは激しく磨耗し、切断する危険があります。

- **正しく装着されていない場合**
- **高速走行(特に回送時の走行)・急発進・急加速・急ハンドル・急ブレーキをした場合〔警告⑦〕**
- **装着したまま、雪路・凍結路・ぬかるみ以外を走行した場合〔注意⑤〕**

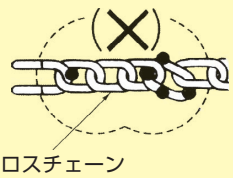
〈走行中の磨耗・切断に備えてスペアのタイヤチェーンまたは補修用クロスチェーンを携行してください。〉

チェーンの磨耗状態

◎正しく装着した場合は、クロスチェーンの右図の●印の部分が平均して磨耗します。



◎正しく装着されなかった場合は、右図の●印のように偏って磨耗します。



⚠ 警告

誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

①**タイヤサイズに適用しないタイヤチェーンは絶対に使用しないでください。**連結の不備、ゆるみが発生し、チェーンの切断や車両の損傷など事故の原因となります。必ず装着するタイヤサイズを容器またはカタログに記載されている適用サイズと合っているか確認してください。ただし、銘柄(冬用タイヤ)などによってタイヤの大きさが異なる場合は、その限りではございません。
②**タイヤチェーンを本来の目的(タイヤの滑り止め)以外に絶対に使用しないでください。**他の目的(牽引、つり下げ等々)に使用すると切断し、事故の原因となります。
③**タイヤチェーンを改造しないでください。**ゆるみ、切断が発生し、事故の原因となります。
④**走行中に異常な音なり、振動、衝撃などを感じたときは、速やかに車両を安全な場所に止め、ゆるみ、切断の有無を確かめてください。**そのまま走行すると、事故の原因となります。
⑤**クロスチェーン(路面に接触しているリンク)が線径の1/3以上擦り減った(使用限度)時は、使用をやめてください。また、クロスチェーンの両面使用は絶対にやめてください。**チェーンが切断し、事故の原因となります。
⑥**タイヤチェーンを装着しているときは、30km/h以下で走行してください。**30km/hを超えて走行しますとハンドルを取られたり、制動が利かなくなったり、また、タイヤチェーンのゆるみが発生したりして、事故の原因となります。
⑦**タイヤチェーンを装着しているときは、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどは危険ですからやめてください。**駆動輪の空回り、制動不能、横滑り、ハンドル操作不能などが発生し、事故の原因となります。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

①取扱いには、手袋をご用意ください。車両の**フェンダー**への接触、タイヤチェーンの連結時の手の滑りなどで、思わぬ傷害の原因となります。
②装着後、余ったサイドリンクは必ず切り取るか針金などで固定してください。余ったサイドリンクをそのまま放置しますと、車両の**フェンダー、ホイール**などを損傷する原因となります。
③装着後、タイヤチェーンがゆるんでいたり左右に片寄っていますと、コネクタが走行中の接地やタイヤによる踏み付けにより早期折損や変形して外れ、車両の**フェンダー、ホイール、タイヤ**などを損傷する原因となります。ゆるみ、片寄りなく均等にかかるように必ず装着し直してください。
④チェーン装着後、必ず50m以上試走してから装着点検をし、異常がないことを確認してください。装着不良により異常な音なりがする場合は、直ちに安全な場所に車両を止め正しく装着し直してください。また、チェーンバンドやサイドチェーンの引っ張りが弱くなっている場合は、サイドチェーンを正しく締め直してください。
⑤雪や凍結のない道路では、路面の損傷やクロスチェーンの磨耗を防止するためチェーンを取り外して下さい。
⑥タイヤチェーンを正しく装着されませんと偏磨耗によりチェーンが切断したり、コネクタが変形したりして外れ、車両の**フェンダー、ホイール、タイヤ**などを損傷する原因となりますので、正しく装着してください。
⑦タイヤチェーン装着後は縁石や障害物に接触しないように注意して走行して下さい。**タイヤチェーンの切断や破損**の原因となります。

品質には万全を期していますが、万一製造上の原因による品質不良が明らかな場合は、程度に応じて新しい製品と交換するか、不良箇所の部品を供給致しますので、お手数でも下記までご連絡ください。

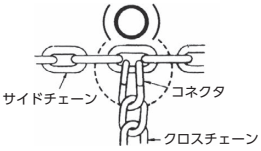
【製品に関するお問い合わせは】
MURAOKA
◆村岡電器産業株式会社　営業部　TEL 03-3626-3201
〔本社〕東京都墨田区業平一丁目2番6号　FAX 03-3623-1774

装着するときは

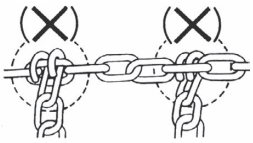
1．ねじれの確認

タイヤチェーンを、路面に広げて、ねじれやくぐりの状態がないことを確認してください。

正常な状態



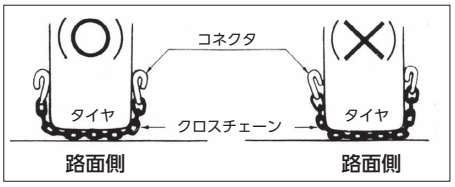
ねじれ、くぐった状態



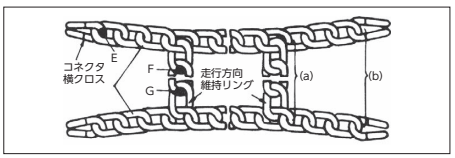
2．取 付 方 法

路面にタイヤチェーンを敷き、車両を後退させる方法もございますが、ジャッキまたはクレーン等で車両を持ち上げてタイヤを浮かせると装着が容易です。取り付け時は、タイヤチェーンのコネクタの向きに注意して下さい(**図A**)。また最終クロスが移動可能なタイヤチェーン(標準型SAタイプ、アルダンH型、アダックⅠ型、SAⅠ型)は、コネクタをシャックルに変更してありますので使用前に必ずネジのゆるみがないこと(増し締め)を確認してください。

☞H型タイヤチェーンの故障は、クロスチェンの磨耗切断がほとんどで、サイドチェーン、コネクタ、フックが損傷することは極めて稀です。クロスチェーンは走行中、絶えず路面と接触し、その部分が磨耗します。タイヤチェーンの使用限度は状況により異なりますので、定期的に確認してください。**図B**のEが磨耗した場合、クロスチェーンがタイヤに平均してかぶさっていない場合になります。またF及びGが磨耗した場合、クロスがたわんでいるために、リンクが立ったり重なりあって切断します。
H型タイヤチェーンの締め付け方は、**図B**に示す走行方向維持リンクの長さ(a)より、２つの横クロスの幅(b)が小さくならない範囲にして、走行方向維持リンクをだぶつかせないでください。



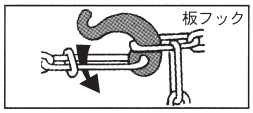
図A　コネクタの向き



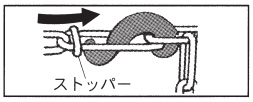
図B　H型クロスチェーン

3．連 結 方 法

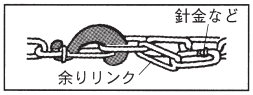
正しい連結順序は下記の通りです。



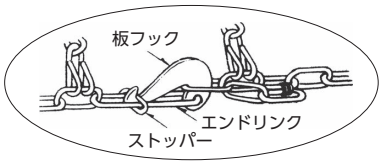
①リンクを板フックに掛けます。



②ストッパーを移動し板フックを固定します。



③余りリンクを針金などで縛ります。



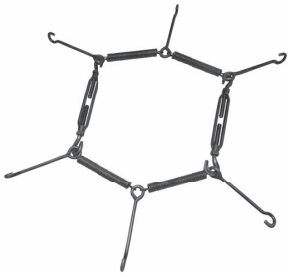
連結した状態

☞近年、同サイズのタイヤでも、タイヤメーカーあるいは形状によってタイヤの大きさが異なっている場合がございます。特に冬用タイヤは、普通タイヤに比べ、ショルダー部が張っており接地面が拡大しているため、従来の適用するタイヤチェーンでは装着不能の場合がございますので、必ず試着をしてください。装着時は、タイヤチェーンがタイヤにフィットするように調整してください。最終クロスが移動可能なタイヤチェーン(標準型SAタイプ、アルダンH型、アタックⅠ型、SAⅠ型)は、コネクタをシャックルに変え、容易に調整できるようにしました。

4．ゆ る み 止 め

タイヤチェーン装着後にタイヤチェーンがゆるまぬように、必ずタンバックルチェーンバンド、ロケットスプリングチェーンバンド、もしくはワイヤーテンショナーバンドのゆるみ止めをご使用ください。また、ご使用の前に、必ずゆるみ止め付属の取扱説明書をお読みください。

●タンバックルチェーンバンド



●ロケットスプリングチェーンバンド

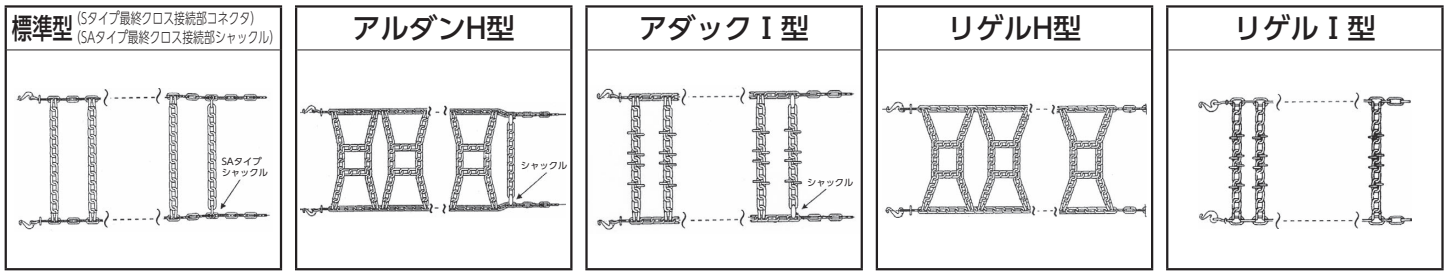
●ワイヤーテンショナーバンド

5．クロスチェーンは消耗品で交換設計になっています。

クロスチェーンの補修の時は、当社指定のものをお選びください。
必ず交換用クロスチェーン付属の取扱説明書をお読みになり使用してください。

6．タイヤを痛めないために

タイヤ側に線材の角、コネクタ及びフック、またはシャックル(**写真C**)の突き出ている部分などが当たらないように装着してください。

写真C　シャックル装着時

●タイヤチェーン略図